

## 2011 年度事業計画

### 1. 荒川クリーンエイドの運営

荒川クリーンエイドは流域全体で、様々な主体に属す参加者がゴミを種類別に調査・カウントしながら拾う数えるゴミ拾いを実施している。調査手法により、拾う人にとっても良い気づきとなり、また、集計したデータによって、そのゴミとなった製品の製造・流通・販売・消費・廃棄の全てにかかわる改善などを提言が出来る。また、参加団体には、本活動が廃棄物に関する問題を考えるものだけではなく、自然を回復するための活動であることにおいても周知を図る。このようなクリーンエイドの意義や実施方法について把握して頂き、参加者にも呼びかけて頂くことをさらに共有する。

#### [主な計画事項]

##### ○数えるゴミ拾い

過去 17 年間実施してきた本活動において、2011 年度も散乱ゴミ、粗大ゴミについて、数えるゴミ拾いを実施する。また、荒川が荒川で終わらず、荒川から共に地球のゴミ問題を考えていくためにゴミ調査カードの改定を行う。

##### ○特定テーマのゴミ拾い

「荒川ペットボトル大捜索！」を実施。秋以降は参加者の意見、フォーラム内外の方々の意見も踏まえて実施の継続、あるいは新たな試みを検討する。

##### ○実施説明・体験会の開催

実施説明会は、春と秋の 2 回開催し、特に 9 月以前に初めて実施する団体やキャプテン等の担当者が交代する団体などは必ず参加いただくようお願いし運営方針や実施方法を共有していく。

##### ○主催会場の運営

「24 時間テレビ」チャリティー委員会や下平井水辺の楽校と共催し荒川クリーンエイドを開催する。上記体験会においては、荒川クリーンエイド・フォーラムの主催会場として会場を運営する。

##### ○活動のサポート

企業や高等学校などの実施団体の要望に応じて、事務局スタッフを中心に活動のサポートも行っていく。

### 2. 生物多様性の保全

2010 年 10 月に名古屋で開催された生物多様性条約第 10 回締約国会議（COP10）での盛り上がりを受け、同テーマにおいて、荒川でも市民団体や企業をはじめとする参加団体の問題意識を受けて、当該事業を計画するに至った。荒川の健全な生態系の保全を目指して、市民や企業の参画を積極的に受け入れ河川敷の維持管理の一端を担えるような新たな仕組みづくりを計画し、活動を展開する。

#### [主な計画事項]

##### ○里川創造プロジェクト

地域住民等が利用できる里川の思想を置いた自然環境の創造の手始めとして、小松川自然地で、地域住民等を巻き込んだ環境学習を実施する。具体的には、アレチウリ、オオブタクサ、セイタカアワダチソウなどの外来種の除草、荒川の生き物や生態系について解説する「自然環境教室」、秋の終わりに実施するヨシ刈りを行う。また、地域団体や自治体と協働して同プロジェクトを始動する。なお、体験活動に加え、植生などのモニタリングの方法については実施の是非も含めて 2011 年度を目途に検討する。

○絶滅危惧種の復活プロジェクト

潜在的な荒川本来の環境保全を念頭に置く。2011年度から、かつて荒川流域に多数生息していたヒヌマイトトンボの保全に焦点を置いた保全・復活プロジェクトを流域の複数拠点で実施する。詳細については、学識経験者や荒川下流河川事務所地域連携課と協議のうえ遂行する。

### 3. 環境教育の推進

様々なセクター・世代の人々が、荒川下流域においてゴミ問題や生物多様性、水辺の安全等に関する学びを得られるよう、河川を活用した環境教育、“人づくり”に多面的に取り組む。また、川と人との関わりを考えるうえで河川防災への意識啓発も必要との認識から、環境教育のなかで取り入れていくことを念頭に置く。

[主な計画事項]

○小中学校の「総合的な学習の時間」支援

荒川クリーンエイドの実施を含めた水辺の学習を支援する。また、ホームページ等を通じて、学習に適した自然地、安全管理、学習プログラム等に関する情報提供を強化する。

○青少年育成

2011JT 青少年育成に関する NPO 助成事業「荒川キッズ育成事業～生物多様性プロジェクト」として、荒川下流における自然体験・環境学習の普及を目的に活動を展開する。北区水辺の会や下平井水辺の楽校等の流域団体と連携し、荒川下流の自然地で親子向けイベントを開催する。その中で、過去夏休み期間に実施してきた「なつやすみ水辺の楽校」を再開する。

○自然環境教室

荒川クリーンエイド等の実施日に、その参加者等を対象に、荒川の自然に親しみ、生物多様性への理解を深める「自然環境教室」を開催する。

○指導者育成

クリーンエイド実施団体のキャプテンを主対象に、ゴミの発生抑制策や都市河川の維持管理、活動における安全管理等を共有することを目的に、荒川クリーンエイド説明会等のプログラムに加味する。

○社員研修

Panasonic NPO サポートファンド助成事業の一環として、クリーンエイドを活用した社員研修プログラムの開発と普及を進める。企業規模を問わず、参加しやすい受け入れ体制、実施内容等をさらに検討する。

### 4. 水質調査の実施

希望団体を募り、パックテスト試薬やマニュアルなどを配布して、春と秋に水質調査を実施する。春は全国一斉の6月5日(日)午前10時を中心に、荒川本流と流域各地の身近な川や池などで行う。秋はクリーンエイド時に各会場近く(荒川本川の流れの中心部か橋の中央部から採水)で実施する。

[主な計画事項]

○身近な水環境の全国一斉調査への参加

荒川本川及びその支川、また、流域各地の川や池などで調査を実施する。調査項目は温度とCOD(低濃度)のみとする。データをとりまとめて全国水環境マップ実行委員会事務局に送付する。また同実行委員会に参加して、今後に向けての検討を行う。

○秋のクリーンエイド時の水質調査

クリーンエイド実施時に、荒川本川およびその支川での調査を実施する。調査は、温度、COD、pH、アンモニア態窒素、硝酸態窒素、亜硝酸態窒素および、透視度などとする。さらに必要な団体には必要器材の貸与を行う。

## 5. 流域連携

荒川流域下流の市民団体や行政、ひいては、上流や源流の市民団体と連携して、自然地の在り方や流域全体の自然再生に取り組むことを始め、荒川流域の抱える課題の解決を目指す。

[主な計画事項]

○自然地管理検討会への参加

荒川下流河川事務所が主催する「荒川下流部自然地管理・運営検討会」に当フォーラム代表理事が委員として参加し、今年度は2つのモデル地区について自然地管理のあるべき方向について検討がなされており、これまでの経験を踏まえ提言を行う。

○「荒川自然懇談会」を通じた荒川下流河川事務所との協働

当フォーラム役員が多数参加する荒川自然連絡会と荒川下流河川事務所との間で行っている「荒川自然懇談会」を官民協働の場とし、モニタリングについての勉強会を手始めに市民参加による自然地管理を進め、荒川下流部に親しみやすい自然地を広めていく。

○荒川流域再生プロジェクトへの参加

NPO 法人荒川流域ネットワークを中心に同プロジェクトが実施する「荒川流域再生シンポジウム」を共催し、「アユ遡上支援作戦」に参加し、流域連携による「魚の行き交う川作り」を推進する。

○荒川源流エコツアーの企画・実施

荒川源流部の原生林や二次林の荒廃を防ぐために流域市民はどうすべきか、今年も源流域を視察し住民や市担当者等と交流して、鹿の食害対策や源流域木材の活用などについて参加者の理解を深める。

## 6. 他セクターや全国・世界とつながる活動

埼玉と東京、ひいては、荒川流域内外の他のセクターとの連携を通じて、全国・世界とつながる活動を展開する。また、国土交通省河川局や環境省などの省庁、その他セクターなどの連携も必要性を判断したうえで連携策を検討していく。

[主な計画事項]

○埼玉県河川環境団体連絡協議会及び川の再生交流会への参加

荒川クリーンエイドは埼玉県内の河川団体の連合体である埼玉県河川環境団体連絡協議会（埼玉連）に参加する。さらに、埼玉県が主催し、同協議会が協力する「川の再生交流会」に参加するなど、引き続き埼玉県内での連携をはかっていく。

○国土交通省河川局河川環境課「河川ゴミの状況把握・発生抑制に関するワーキング」等への参加

2010年度に依頼のあった本ワーキングへの継続などの依頼に応じて出席し、荒川のゴミの状況、ひいては、全国で活用できそうな調査手法について意見する。

○一般社団法人 JEAN との協力

世界の海洋ゴミ調査データを補完するため、春及び秋のクリーンエイドのゴミ調査結果を提出する。結果の活用や調査方法の修正などについては、随時 JEAN と共有し、荒川のゴミ調査が世界のゴミの発生抑

制に寄与されることを促す。

○その他セクター全般との連携

江戸川区水辺の活動交流会やまち美化研究会の委員参加依頼など、他のセクターとの連携についてもこれまでの活動を維持する流れで継続していく。

## 7. 広報・情報発信

ホームページやニュースレターなどの広報媒体に加え、テレビ、新聞など外部の広報媒体も活用する。また、活動の参加者を募集すること、ゴミデータを活用し社会へ問題提起することを念頭にそれぞれ広報活動や情報発信を行う。下記は媒体を中心に記載するが場合によっては訪問活動なども併せて検討する。

[主な計画事項]

○ホームページ

実施団体が気軽に参加できるよう、また、はじめての参加者が効果的に当会の活動の意義などを理解できるよう、見やすく情報を提供できることを念頭に置く。

○ニュースレター

印刷コスト削減を勘案すべきとの意見（2011年報告連絡会時）を踏まえ、次号以降の発行については、メール送付などに移行していくことも検討する。また、一部特集を組むなど、テーマ性を重視し、今までと違った工夫も凝らす。

○Eメールニュース

冬季など活動のオフシーズンを除き、毎月1回の配信を心がける。発信のタイミングは月初めとして、4月号より開始する。

○報告集

データ・活動報告等をコンパクトに集約し、荒川クリーンエイドの意義や効果を見やすく表す内容のものを検討していく。従来の荒川クリーンエイドに関する報告集といったタイトルでなく、フォーラム全体の活動報告であるというニュアンスを込め、タイトルの再考を図りたい。

○ポスター（荒川クリーンエイド2011）

関東建設弘済会の助成金により作成することを予定する。秋のクリーンエイド活動を周知する内容とする。

○リーフレット（荒川クリーンエイド2011）

駅や公共施設などのラックに置くことを念頭にA4版サイズのものを使用する。春のクリーンエイドにおいては、荒川クリーンエイド2010を流用し、秋のクリーンエイドについては、新たにスタンドタイプのものを作成する。

○サンクスレター（荒川クリーンエイド2011）

昨年度作成分を引き続き春のクリーンエイド会場で配布する。秋のクリーンエイドでの配布継続については別途検討する。

○プレスリリース

参加者募集に加え、ゴミの発生抑制を目的に発信する。ゴミデータを集計して報告集において、公表するに留まらず、ゴミの発生抑制の意義について、クリーンエイド参加者だけでなく、広く社会へ発信することを試みる。2009年度に引き続き、2010年度においても散乱ゴミ数の総計がトップとなったペットボトルゴミの減量を働きかけるため、「マイボトルを持つ」というメッセージを伝えていくことを一案として

検討していく。

## 8. 組織運営

定期総会、東京都などの所管官庁対応など NPO として必要な運営に加え、組織の効率的・効果的な運営基盤強、自主財源基盤の強化に一層の努力を行う。

[主な計画事項]

### ○組織体制

適正な会費を設定することにより、積極的な会員拡大活動を図る基盤を整備する。なお、既存の会員との円滑なコミュニケーションを図ることを念頭に置く。また、連絡会を 2012 年 2 月に予定し、2011 年度の成果や課題について共有するとともに、2012 年度の事業計画について参加者から意見を伺う。

役員については、2010 年度同様のメンバーから新たに新規役員の就任を検討し、総会にて協議する。また、定款作成時からポストは明確にされていたものの長年不在であった顧問に尾田栄章氏に就任をお願いした。

事務局においては、2 名の専従職員と 3 名の非専従職員により運営する。また、明治大学より学生インターンを事務局へ受け入れることを予定する。

### ○ファンドレイジング（資金調達）

春の新入社員研修企画など自主事業化できるサポートサービスを強化する。また、企業・団体に対して活動への寄付・協賛の依頼を 9 月～10 月を目途に積極的に行うなど、自主財源基盤の強化に努める。また、昨年度獲得した UPS 基金を使用し、今後のファンドレイジングに活かすことのできる T シャツ、バンダナなどの物品を新たに作成する。

### ○新規事業開拓

河川管理水準を高めるため、水防災分野など新たな業務領域の拡大を念頭に置く。

2011年度 事業計画の概要一覧

事業	活動名	計画概要	テーマ、内容など
1. 荒川クリーンエイドの運営	春のクリーンエイド	4月～8月 (2011年1～3月も含む)	荒川流域で年間100会場を想定
	秋のクリーンエイド	9～12月	
	クリーンエイド実施説明会	4月23日(土) 9月10日(土)	2011年の活動方針、実施手順の説明等
	24時間テレビ「荒川クリーンエイドアクション」	5月29日(日)	江戸川区小松川自然地にて開催予定
	下平井水辺の楽校との共催クリーンエイド	10月16日(日)	江戸川区下平井水辺の楽校にて開催予定
	荒川クリーンエイド・サポート報告・連絡会	4月以降随時 2月17日(金)予定	高等学校、企業の活動補助 2011年の成果報告、2012年の計画について共有
	2. 絶滅危惧種の復活プロジェクト 生物多様性の保全 里川創造プロジェクト	地域連携課との協議	4月以降8月まで随時
プログラムの実働		9月以降12月まで15回	秋以降生息地及び代替地にて活動を実施
キックオフミーティング		9月10日(土)(予定)	里川創造プロジェクトの説明
モニタリング		4・5月以降随時	セイタカアワダチソウと周辺動物調査
プログラムの実働		9月～12月	除草、自然環境教室などの体験
3. 環境教育の推進	「総合的な学習の時間」支援 青少年育成	随時 7月31日(日)、9月17日(土)計8回	荒川下流の自然地における環境学習を支援 なつやすみ水辺の楽校他、親子向けイベント開催
	自然環境教室	随時	クリーンエイド会場等にて開催
	指導者育成	4月23日(土)・9月10日(土)	ゴミの発生抑制、安全管理等(クリーンエイド説明会の中で)
	社員研修	4月	ゴミ問題に関係する個人のアクションプラン議論
4. 水質調査の実施	身近な水環境の全国一斉調査	6月第1日曜 随時	温度とCOD(低濃度) 全国水環境マップ実行委員会参加
	秋CA時水質調査	9月以降随時	温度、COD、pH、アンモニア態窒素、硝酸態窒素、亜硝酸態窒素および、透視度など
5. 流域連携	自然管理運営検討会	未定	荒川下流モデル自然地の活用方法について
	荒川自然懇談会	随時	モニタリング勉強会の開催等
	荒川流域再生プロジェクト	8月上旬及び2月	アユ遡上支援作成等について議論
	荒川源流エコツアー	9月3・4日(土日)	荒川原生林や二次林の散策等
6. 他セクターや全国・世界とつながる活動	埼玉県河川環境団体連絡協議会	2012年1月	川の再生シンポジウム
	国交省河川局ゴミ指標化	未定	全国展開に向けた調査
	調査カード改変・JEANとの連携	随時	春、秋のクリーンエイド終了時にデータ提供
	その他	随時	まち美化研究会など
7. 広報・情報発信	ホームページ	随時更新	参加者募集等広く情報発信を行うべく随時更新
	ニュースレター	4月、9月、1月発行	一部メールでの送信として発行
	Eメールニュース	月1配信	〇月号として配信
	報告集	3月発行	カラー版を想定
	サンクスレター	春のクリーンエイド期間中	参加者への感謝状として作成
	秋のCAポスター・リーフレット	9月以降に配布	秋のクリーンエイド用に使用
8. 組織運営	第12回定期総会	5月14日(日)	
	理事会・運営委員会	随時	業務進捗報告と対応事項について協議
	インターン受け入れ	6月以降	数名を予定
	ファンドレイジング	随時	助成金申請や企業訪問など